

農山漁村地域整備計画 事後評価調書

計画の概要	計画の名称	埼玉の木づかい促進路網計画
	計画策定主体	埼玉県
	対象市町村	秩父市、飯能市、本庄市、日高市、毛呂山町、越生町、小川町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、寄居町（16市町村）
	計画期間	平成27年～令和元年（5カ年）
	計画の目標	<p>本県の森林は約12万1千haで、その半数が人工林であり、森林資源は充実しつつある。</p> <p>一方、本県における新設木造住宅着工戸数は全国第3位（平成25年）であり、全国有数の木材消費県であるが、新設木造住宅への県産木材の利用は低位にとどまっている。</p> <p>このため、木材の生産基盤を担う森林管理道の開設・改良を実施し、木材搬出コストの低減を図って外材との競争力を高め、県産木材の利用拡大を促進することを目標とする。</p> <p>また、路網を整備することで、今まで手入れの行き届かなかった森林の整備を促進していく。</p>
	定量的指標	<p>県産木材供給量を80千m³（平成25年次）から83千m³（平成30年次）に増加させる。</p> <p>間伐実施面積を1,340ha（平成25年次）から2,500ha（平成31年次）に拡大させる。</p>
	対象事業	森林整備事業
	全体事業費	681,215千円

評価項目	達成状況	評価
交付対象事業の進捗状況	森林整備の基幹となる森林管理道について、開設5路線、改良18路線、舗装7路線、点検診断・保全整備53路線の整備を実施した。	○
事業効果の発現状況	森林管理道の整備により、県産木材供給量は増加し、事業効果は良好に発揮されている。	○
成果目標の目標値の実現状況	事業の実施により県産木材供給量が80千m ³ （平成25年次）から94千m ³ （平成30年次）に増加した。しかし、令和元年10月の台風災害の影響もあり、間伐実施面積は1,340ha（平成25年次）から1,015ha（令和元年次）に減少した。目標は達成できなかったが、引き続き県産木材の利用拡大を促進していく。	○
今後の方針	本県の森林資源の更なる活用のため、木材の生産基盤を担う森林管理道の整備を適切に実施していく。	